



第1回水道国際貢献推進協議会（4月18日）

国際貢献について関心を有する水道関係者が一同に会し、共通の認識の下、推進していくべき一体的な取組について議論を進めていくことを目的として、本会・(社)日本水道工業団体連合会・(財)水道技術研究センター3団体の共同で水道国際貢献推進協議会が発足した。

会議では協議会の設立経緯を報告するとともに、会長には(社)日本水道工業団体連合会の幡掛会長が就任するとともに、副会長には本会の赤川専務理事・(社)日本水道工業団体連合会の坂本専務理事・(財)水道技術研究センターの藤原理事長の3者が就任し、事務局（事務局長：本会 石井首席研究監）は上記3団体が共同で担当することを報告した。

また、今後の活動方針について協議し、ISO規格など国際的標準規格のアジアへの普及、人材育成の機会提供ならびに啓発活動の実施、アジア太平洋水サミット等の国際会議への参加を当面の活動方針に決定し、今後、具体的な活動内容を検討することとした。



平成19年消費税実務講座（4月18日～19日）

正会員及び賛助会員の事務職員の方々27名の参加を得て「国・地方公営企業の消費税」、「消費税等の予算経理及び会計処理」（講師：中田ビジネスコンサルティング代表 公認会計士 中田ちず子）について研修を実施した。

第853回会誌編集委員会（4月18日）

本誌5月号、6月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱い並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

平成19年度第1回水道週間中央行事実行委員会（4月23日）

本年6月3日（日）に開催される第29回水道週間中央行事「水感謝祭 in させぼ」の実施企画、予算案について、開催地である佐世保市より説明があった後、慎重な審議の結果、原案の通り了承された。



韓国特別・広域市上水道事業本部長日本上水道視察（4月24日～26日）

4月24日～26日の3日間、韓国ソウル特別市・釜山広域市・大邱広域市・仁川広域市・光州広域市・大田広域市・蔚山広域市の上水道事業本部の本部長、韓国水資源公社上水道本部長、韓国上下水道協会常勤副会長、ソウル市立大学の具教授、他計13名の視察団が訪日した。その間、日本水道協会・東京都水道局・大阪市水道局の表敬訪問を行った。日本の水道事業の現状、お客さまサービス、水道経営における問題点等について情報交換し、併せて人的交流の促進を図った。



第34回 ISO 審査登録センター・判定委員会（4月24日）

横浜市水道局浄水部のサーベイランスの審議を行い、品質マネジメントシステムが JIS Q 9001:2000/ISO 9001:2000規格要求事項に適合していると判定した。

第17回水道 GLP 認定委員会（4月26日）

さいたま市水道局及び（株）イズミテックの水道 GLP 認定について審議を行い、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。

第9回水道用塗料等に関する規格専門委員会（5月8日、9日）

任期満了により委員長の互選を行った。委員長には、山崎大阪市水道局工務部工務担当課長が選出された。引き続き、JWWA K 135（水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法）の規格改正について、塗覆装鋼管製造工程調査及び各種試験の立会の後、規格改正案及び解説案について審議を行った。



第609抄録委員会（5月11日）

本誌8月号に掲載する外国文献の抄録内容及び7月号に掲載する海外和文題名等について審議した。

平成19年度 JICA（独立行政法人国際協力機構）集団研修「上水道施設技術コース」開講式（5月14日）

JICAより受託し実施している標記集団研修コースの開講式を開催した。40回目を数える今年度は7カ国（エジプト・ギニア・ネパール・フィリピン・東ティモール・ウガンダ・ベトナム）から8名の研修員を迎え、7月25日までの約2カ月半の間、水道技術に関する講義や日本各地の水道施設見学を行う。



第58回全国水道研究発表会（5月23日～25日）

釧路市の釧路市観光国際交流センター、釧路プリンスホテル、釧路全日空ホテルにおいて、全国から約1,600名の参加を得て盛大に開催された。開会式では開催地を代表して、伊東釧路市長、日本水道協会を代表して赤川専務理事、来賓として宮崎厚生労働省水道計画指導室長、坂本日本水道工業団体連合会専務理事より挨拶があった。



伊東鉦路市長



赤川日本水道協会
専務理事



宮崎厚生労働省
水道計画指導室長



坂本日本水道工業
団体連合会専務理事

続いて、「水道施設のリスク管理」をテーマとして、宮崎正信厚生労働省健康局水道課水道計画指導室長、工藤貞徳鉦路市上下水道部浄水課長、広津鍊一宮崎市上下水道局事業部長、上原珠枝一級建築士・森林インストラクター・環境カウンセラー、間山一典(株)日水コン東京水道事業部技術第一部長を講師に、長岡裕武蔵工業大学工学部都市工学科教授の座長のもと、水道フォーラムが開催された。

また、会期中、本会のPRコーナー、日本水道工業団体連合会による水道用品展示会が開催され、多数の見学者で賑わった。

研究発表は10部門に分かれて行われ、発表数は事務27、計画19、水源・取水13、浄水84、導・送・配水72、給水装置17、機械・電気・計装18、水質62、リスク管理・災害対策34、英語9、計355編の発表が行われた。



開会式



水道フォーラム



研究発表の様子

※お詫び

本誌5月号に掲載しました「澤竹大先輩を偲んで」におきまして、池田篤三郎先生（元名古屋市水道部長・元水道局長）のお名前に誤りがございました。ここに深くお詫びし訂正申し上げます。

（誤）池田徳三先生（元名古屋市水道部長） → （正）池田篤三郎先生（元名古屋市水道部長・元水道局長）